

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (沖縄)		-	-	-
		旅行代理店（マネージャー）	販売量の動き	・何件か、20～100名ほどの会社の社員旅行を受注した。会社の金回りは良さそうな傾向である。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・販売量の動きからみると前年11～12月は前年割れをしていたが、今年に入り前年をクリアできるようになっている。
		住宅販売会社（営業担当）	来客数の動き	・住宅展示場への来場組数が前月比21%増、前年同月比2%増と、来場者が増えている。
		一般小売店 [靴・袋物] (経営者)	来客数の動き	・かつてのインバウンド客の爆買いが減って、来客数の割にはなかなか売上がつながらない。商店街では、夕方から夜の飲食店、居酒屋が増えて、昼間はかなりシャッター通りになっている。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・客単価は伸び悩んでいるが来客数は増えており、売上高は前年並みを維持している。
		観光型ホテル (マーケティング担当)	販売量の動き	・今月の客室稼働率は、前年同月実績を若干下回る見込みである。3か月前も同様に前年実績を下回っていた。
		通信会社（サービス担当）	単価の動き	・携帯業界は飽和状態となっており、各社で解約新規の取り合いをしている。機種変更などの収入もあるが少ない。メーカーは大きな利益を出しているが、取扱代理店の収益は厳しい。
		その他サービス [レンタカー] (営業)	販売量の動き	・予約、実績件数共に前年並みで動きは少ない。
		住宅販売会社 (代表取締役)	来客数の動き	・戸建て住宅、民間アパート、米国人向け賃貸住宅、商業施設などバランス良く建築相談の来社がある。
		百貨店（店舗企画）	販売量の動き	・衣料品は相変わらず厳しい状況となっているが、これまで押し上げていたインバウンド売上が中国の電子商取引法による規制の影響からか、前年割れとなっている。2月のモチベーションであるバレンタインも義理チョコの動きが減少し、前年割れとなっている。
		観光型ホテル (代表取締役)	来客数の動き	・2月の来客数、売上が前年を下回っている。3月の予約の動きも鈍い。当社だけではなく、同業のホテルでもそういう答えをよく聞く。
		x	商店街（代表者）	競争相手の様子
	x	その他飲食[居酒屋]（経営者）	来客数の動き	・週末金曜日の入客が1月後半から例年の30%余り減っており、周りの飲食店も同様にこの異変に危機感を持っている。地元客が極端に少なくなっている。
企業 動向 関連 (沖縄)		-	-	-
		輸送業（経営企画室）	受注量や販売量の動き	・前年比ベースでは物量の増加があり、既存業務の新店オープンや、新規業態の参入による新たなビジネスのスタートなどがある。
		食料品製造業（総務）	受注量や販売量の動き	・景気は良いとみられるが、同業者間の競争も激しくなっており、加えて人件費、包装資材、物流コスト等、原価率も上昇傾向にある。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・公共向け出荷は前年比減、民間向け出荷は前年比増、全体でやや減である。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新築の契約件数が減少している。
	x	-	-	-
雇用 関連 (沖縄)		-	-	-
		求人情報誌製作会社（編集室）	求人数の動き	・前年11月の週平均件数798件に対し、2月は892件と98件増加している。1月の週平均923件より若干減少はしているが、引き続き、求人意欲は高いとみられる。
		人材派遣会社（総務担当）	求人数の動き	・引き続き求人は多くあり、景気は良い状態が続いているとみられる。
		-	-	-
	x	-	-	-